CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 （2010年ver.1）

出島埋立地区廃棄物処分場受入施設

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配　慮　項　目	評価点	重み係数	内　訳								
■1.「地球温暖化対策」の推進											
1.1 建物の熱負荷抑制											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください	2.0	1.00	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能	
	××	××									
	××	××	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制					
小計	2.0	0.02									
1.2 自然エネルギーの利用											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください	4.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用	2.1	自然ｴﾈﾙｷﾞｰの直接利用			
受入室3面にハイサイドライトを設置。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用	2.2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰの変換利用			
	××	××									
小計	3.5	0.15									
1.3 設備システムの高効率化											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。ロ	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化					
LED等高効率の器具を採用し、エネルギー消費を抑制。											
小計	5.0	0.23									
1.4 設備システムの効率的運用											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング			
電力小メーターの設置。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制			
	××	××									
小計	3.0	0.15									
1.5 資源・マテリアル対策											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。ロ	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水			
外構舗装への再生アスファルト、再生骨材の路盤材利用を計画。建屋S造躯体+LGS+仕上材、配管・配線が躯体及び仕上材に打ち込まれていない。	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無	
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利システム導入の有無	
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減			
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用			
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			
	5.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用			
	5.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材			
	5.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			
小計	3.8	0.31									
1.6 ライフサイクルCO2排出率											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください	4.4	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮					
ライフサイクルCO2排出率＝82%											
小計	4.4	0.13									
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	**4.0**	**0.68**									
■2.「ヒートアイランド対策」の推進											
2.1 温熱環境の向上											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.52	Q3	室外環境（敷地内）	1	生物環境の保全と創出					
敷地内の車両通行部・駐車スペース以外は緑化し、敷地面積の20%以上を緑地とした。	4.0	0.26	Q3	室外環境（敷地内）	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上			
	3.0	0.22	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善			
小計	2.2	0.97									
2.2 交通負荷抑制											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制	
敷地内に車輌待機スペースを確保。駐車場は敷地奥とし、入口部分での渋滞を緩和。											
小計	3.0	0.03									
2.「ﾋｰﾄｱｲﾗﾝﾄﾞ対策」の推進の評価	**2.2**	**0.22**									
■3.「長寿命化対策」の推進											
3.1 耐用性の向上											
（コメント）　※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性	
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免進・制振性能	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数	
	2.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
空調・給排水管は、主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用。	1.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	4.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔	
小計	2.9	0.70									
3.2 設備の更新性											
（コメント）　※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性	
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性	
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性	
構造体内部は配管保護、その他はラック、ダクト、ケーブル工事とする。	5.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース	
小計	3.4	0.30									
3.「長寿命化対策」の推進の平均点（上記2項目）	**3.1**	**0.10**									
■重点項目の総平均（上記3項目）	**3.5**										